

はにい

みんなの宝物

平成25年12月13日

はじめて訪問した中学校です。廊下ですれちがう生徒から「こんにちは」のひとつこと。ふだん学校にいない人に対しても、あいさつをしてくれます。



教室へ行くまでの道のりで、階段にも、廊下にも、左のような言葉が貼ってありました。

「あいさつは やる気の スイッチ」

あいさつは人とのつながりを生み出し、その居場所感を作るきっかけとなるでしょう。そして、そのつながりの中で、子どもたちは安心して夢中になることができます。

1年生の国語は「みんなの宝物」の発表会でした。

まずは個人で考え、グループ内でミニ発表会です。個人の発表をよりよくするために、グループのメンバーどうしがアドバイスを書いて、発表者本人へ返します。

先生もその書かれた評価を覗き込みます。

「よかったね。発表の姿勢を見てくれている。Aもついているね。」とひとつこと。

発表した生徒も、うれしそう。この先生のひとつこと、また友だちの書いてくれたひとつこと。このひとつことの積み重ねが、生徒どうしや先生と生徒とのつながりを豊かにするよう感じました。



さて、後半はクラス全体で発表をしていきます。

全員が真剣にメモをとりながら、発表者の「宝物」を聞いています。

先生が「宝物はいろいろとあるね。聞いている姿勢がすばらしい！」と、またひとつこと。

友だちの発表を全身で聞いているような、一人ひとりの姿勢でした。

最後に、参観させていただいて、ひとつこと。

このつながりは「みんなの宝物」ですね。

かながわ元気な学校づくり通信『はにい』は、
学校が元気になるように…

先生の仕事を受けとる

学校に携わる大人たちがしていることを受けとる

そして、子どもたちの育ちを受けとる

そんな、コミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス：inochi4027@pref.kanagawa.jp